

第2回 道頓堀川水辺空間利用検討会 議事要旨

- 1 開催日時 平成28年1月15日(金) 10:00~12:00
- 2 開催場所 南海電気鉄道株式会社 本社4階 第1会議室
- 3 出席者
(委員)
11名出席(うち2名代理出席、1名欠席)
(事務局)
大阪市建設局下水道河川部河川課長、河川課長代理、担当係長2名、係員2名
(大阪市関連部局)
中央区役所にぎわい創造担当課長、西区役所まち魅力創造課長、浪速区役所市民協働課まちづくり担当課長代理、経済戦略局観光部水辺魅力担当係長
(管理運営事業者)
南海電気鉄道株式会社より5名

4 議題

(1)報告事項

1)平成27年度上期管理運営状況及び下期見込について報告した。(管理運営事業者)

委員意見

◇ 上半期はイベントの実施件数が増えて喜ばしい。下半期の目標件数は達成できそうか。

→【管理運営事業者】

12月までで33件のイベントが実施され、1月~3月において、12件の問い合わせがあり、目標件数の達成はほぼ確実である。

→【委員】

イベントについては、平日・冬季の実施件数を増やすのが課題であった。

◇ とんぼりリバーウォークのホームページについて、今後のイベントの一覧性が無いのが気になった。可能であれば改良していただきたい。

→【管理運営事業者】

イベントの内容が決まるのが1・2週間前で、そこからホームページの更新作業を行うと、開催日までほとんど日がないという状況だった。できるだけ多くの情報をお伝えすべく今のやり方に変えた。いただいたご意見を参考により良いものにしていきたい。

◇ 広告について、現状分析と今後の対応について聞かせてほしい。

→【管理運営事業者】

道頓堀橋~戎橋間の広告枠について、10月にクライアントが入ったが、以後、入っていない状況である。広告枠を大きくすれば訴求効果が高まると考えていたが、大きくした分、転落防止柵や案内板、植栽等に遮られる部分が増えるというマイナス要因も出てきている。魅力ある広告枠を検討し、引き続き、営業を行っていききたい。

◇ 以前の検討会で水面全体を使ったイベントが出来るようになったが、その後の状況はどうか。

→ **【事務局】**

水都大阪 2015 において、水面を使用したイベントが実施された。日頃通行していた船が通れなくなることを了承していただいた上で安全確認を行い、実施した。道頓堀川の新たな賑わいの 1 つになる可能性があると考えている。

(2)その他

1) 新たな広告枠の募集結果の検証及び今後の取り組みについて説明した。(管理運営事業者)

2) ホームページの改善取り組み状況について説明した。(管理運営事業者)

(3)その他意見

委員意見

◇ 府が主催してドローンの大会をするといううわさを聞いたが、把握しているのか。

→ **【経済戦略局】**

あくまで民間がドローンを使ったイベントの計画があるが、行政が実施するわけではない。一度、大阪府の職員に相談に行かれただけである。

→ **【委員】**

道頓堀でドローンを実施するのは騒音と安全の問題があるので、よく検討してほしい。

→ **【経済戦略局】**

実施に当たっては、河川管理者や地元の方々、交通管理者などと協議が必要であると伝えていて、と聞いている。

◇ 観光客が増え、売り上げが上がることは良いことだが、多くの地域で観光公害が問題になっており、ゴミの実情と対策はどうか。

→ **【管理運営事業者】**

平日の午前と午後は大阪市が、水・土・日及び連休明けには管理運営業者が清掃しているが、依然としてゴミの量には苦慮している。

→ **【委員】**

ゴミの問題は金で解決するのか人力で解決するのか、そのバランスで成り立っている。ゴミがあつて誰が損をするのかという原点に立ち返ると、地元で片づけていかなければならないというのが最近の動きだと思う。

◇ 外国人が来て道頓堀が賑わっているが、マナーが悪いのが問題だ。外国人はイベントの観客だが、イベントに巻き込む方法はないか。

→ **【委員】**

大手旅行会社では、添乗員が旅行地の観光マナーを講義することが多いようである。